

プロティビティの提唱する「次世代の内部監査」は、単にテクノロジーを使って今までと同じ方法で監査を実施することにとどまらず、内部監査のガバナンス要素を捉え直し、監査手法をデータやテクノロジーを活用してよりアジャイルな手法に移行し、適切なテクノロジーを導入・活用する新しい内部監査モデルです。また、次世代の内部監査グループが導入する特定のガバナンス、メソドロジーおよびテクノロジーはさまざまです。私たちが支援している多くの変革を通して、以下の共通の能力、品質、および要素の大部分を、3つの大きなカテゴリーでまとめることができます。

## ガバナンス



- |    |                |   |
|----|----------------|---|
| 01 | 内部監査の将来戦略      | 戦略的な価値創造に向けた、内部監査を革新的に変えていくべく将来戦略を持つ              |
| 02 | 企業構造           | 将来戦略を達成するために、内部監査の位置付けや内部監査組織を整備する                |
| 03 | リソースと人材の管理     | 能力開発モデルに基づく内部人材の管理、外部人材の活用も含めたリソース管理も行う           |
| 04 | 整合・連携したアシュアランス | 3 line of defense モデルの各ディフェンスラインが活動の整合性を確保し、連携を図る |

## メソドロジー



- |    |            |  |
|----|------------|--|
| 05 | 動的リスク評価    | より短スパンで捉えるリスクデータを特定し、リスクを評価する仕組みと運用を行う |
| 06 | アジャイル監査手法  | 計画から報告までのサイクルを短くし、監査を反復実施していく手法        |
| 07 | レポーティング    | 適時性と品質を兼ね備えた効果的なレポートで、ステークホルダーのニーズに応える |
| 08 | 継続的なモニタリング | データを評価・分析して、多頻度にモニタリングができるような仕組みを構築する  |

## テクノロジー



- |    |                           |                                     |
|----|---------------------------|-------------------------------------|
| 09 | 高度な分析                     | 組織内のデータを活用してリスクを評価し、効果的・効率的に作業を実施する |
| 10 | ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA) | これまで手作業で実施していた手順をテクノロジーを活用して自動化する   |
| 11 | プロセスマイニング                 | プロセスを網羅的に可視化し、問題点をプロセスから捉える手法       |
| 12 | 機械学習(ML)、人工知能(AI)         | 機械学習(ML)人工知能(AI)を用いて効果的・効率的に監査を実施する |

